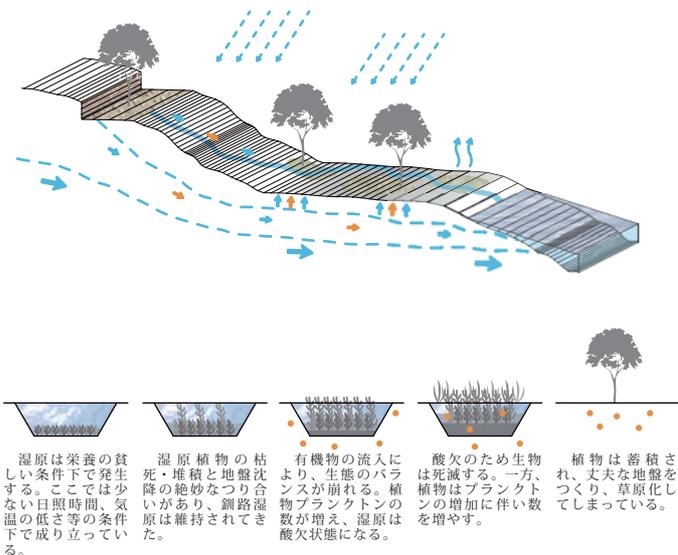
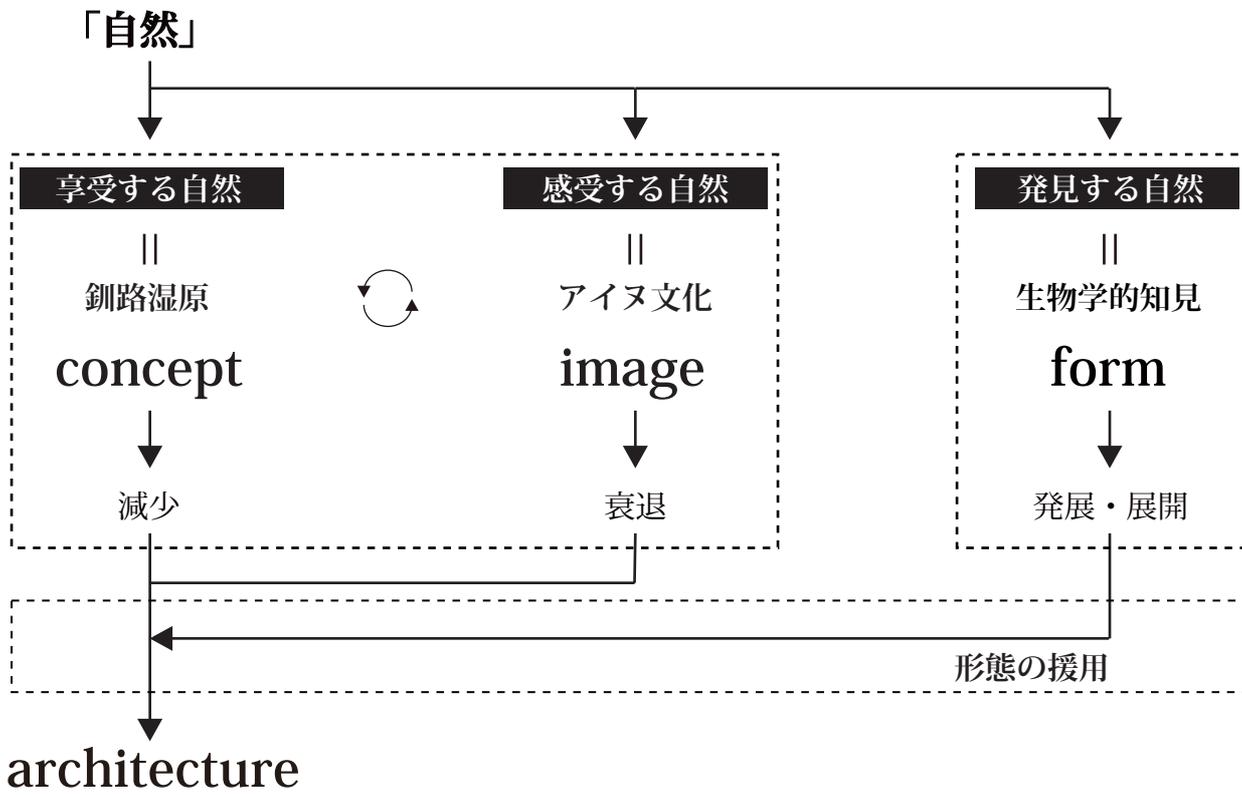


≒27km×27km
釧路湿原全域 1/80000

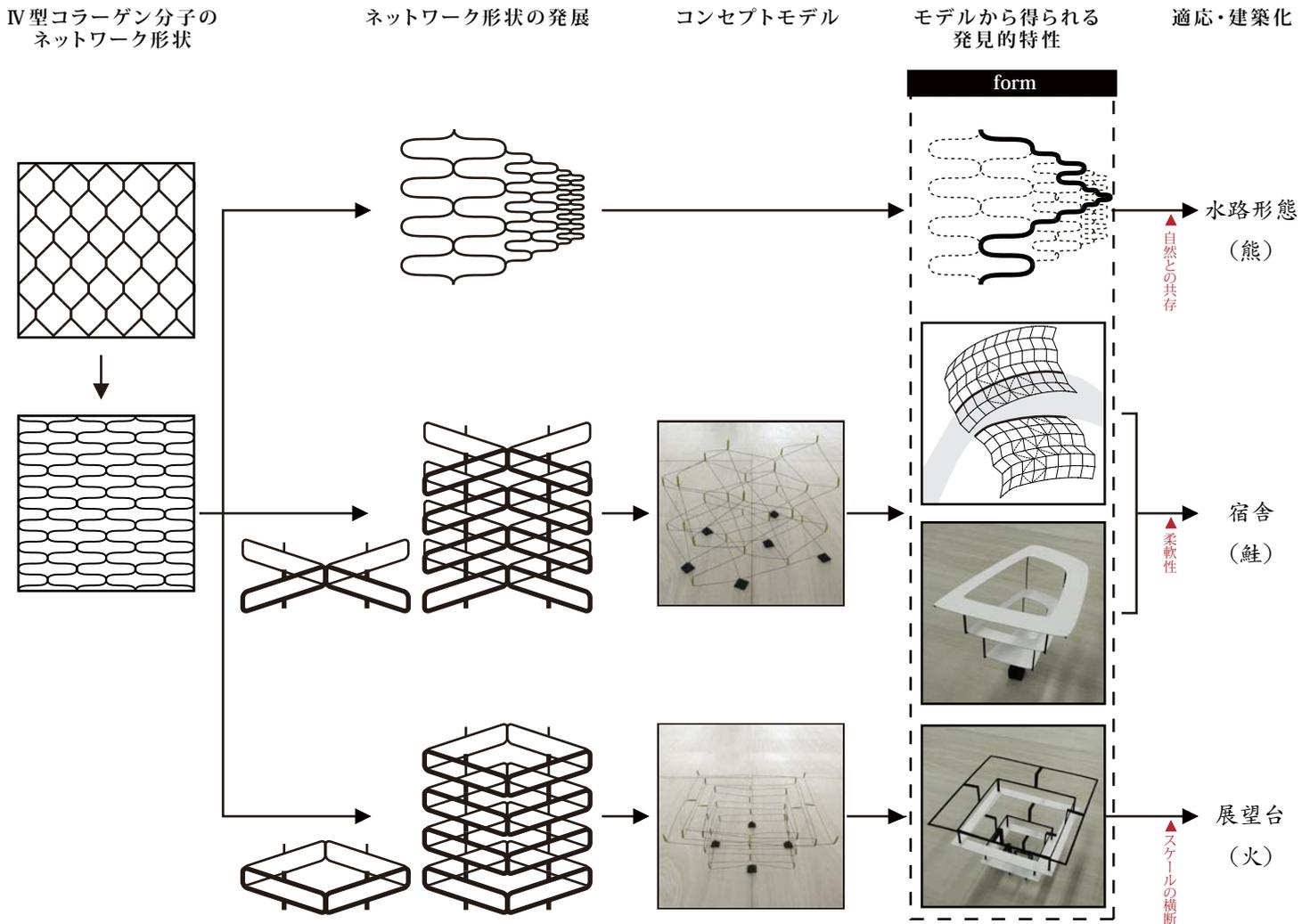
●湿原から草原への遷移



●設計ダイアグラム



●形態の展開



私達はいつの時代も解釈に多少の幅はあれど、建築のテーマとして、「自然」を取り上げてきた。

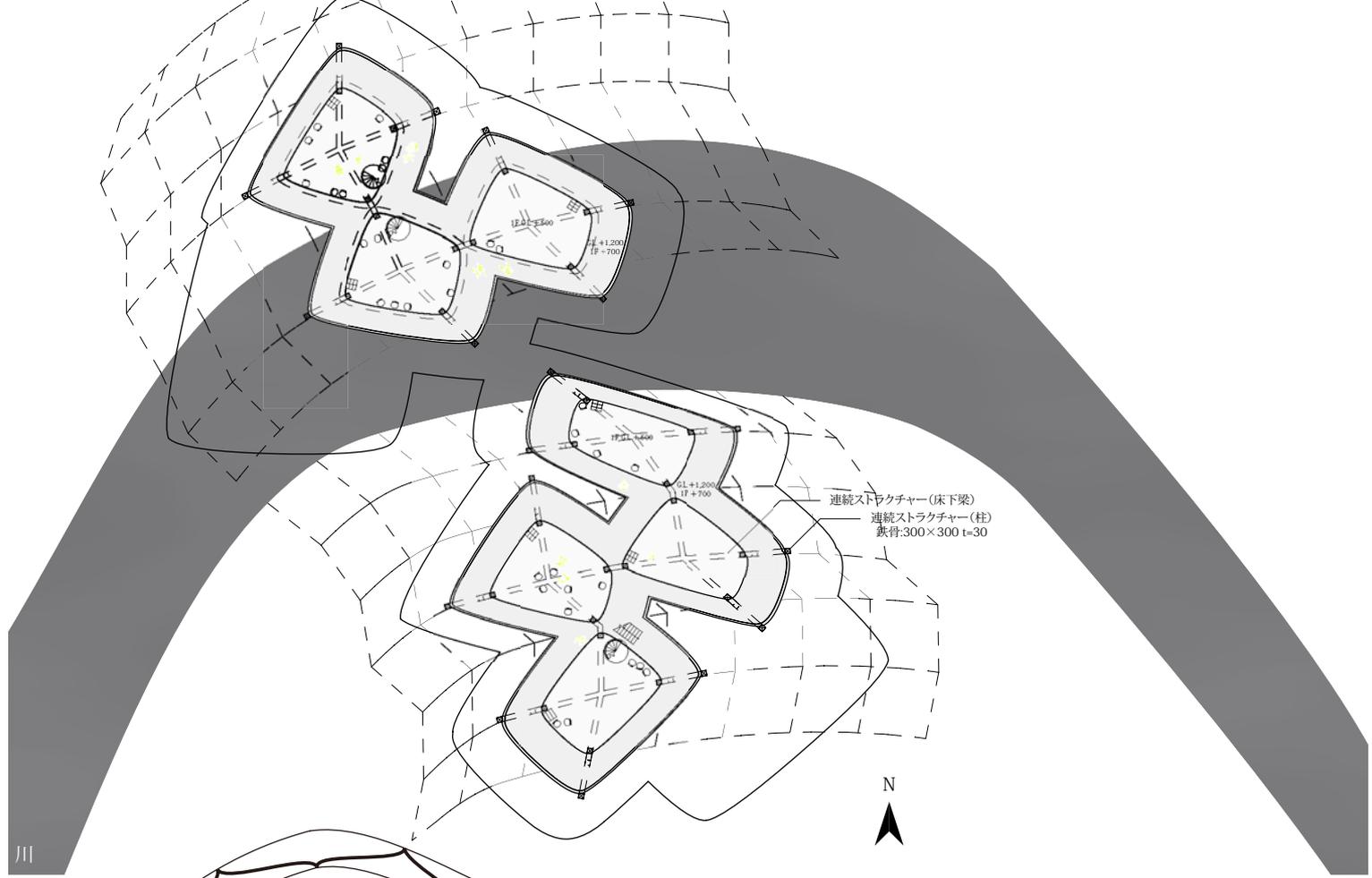
そんな自然の中でも、いま私達が失いつけているものがある。それは「享受する自然」と「感受する自然」である。

「享受する自然」とは私達の生活を支え、恵みを与えてくれる存在であり、「感受する自然」とは「享受する自然」を歌い、憂い、時に恐れることである。

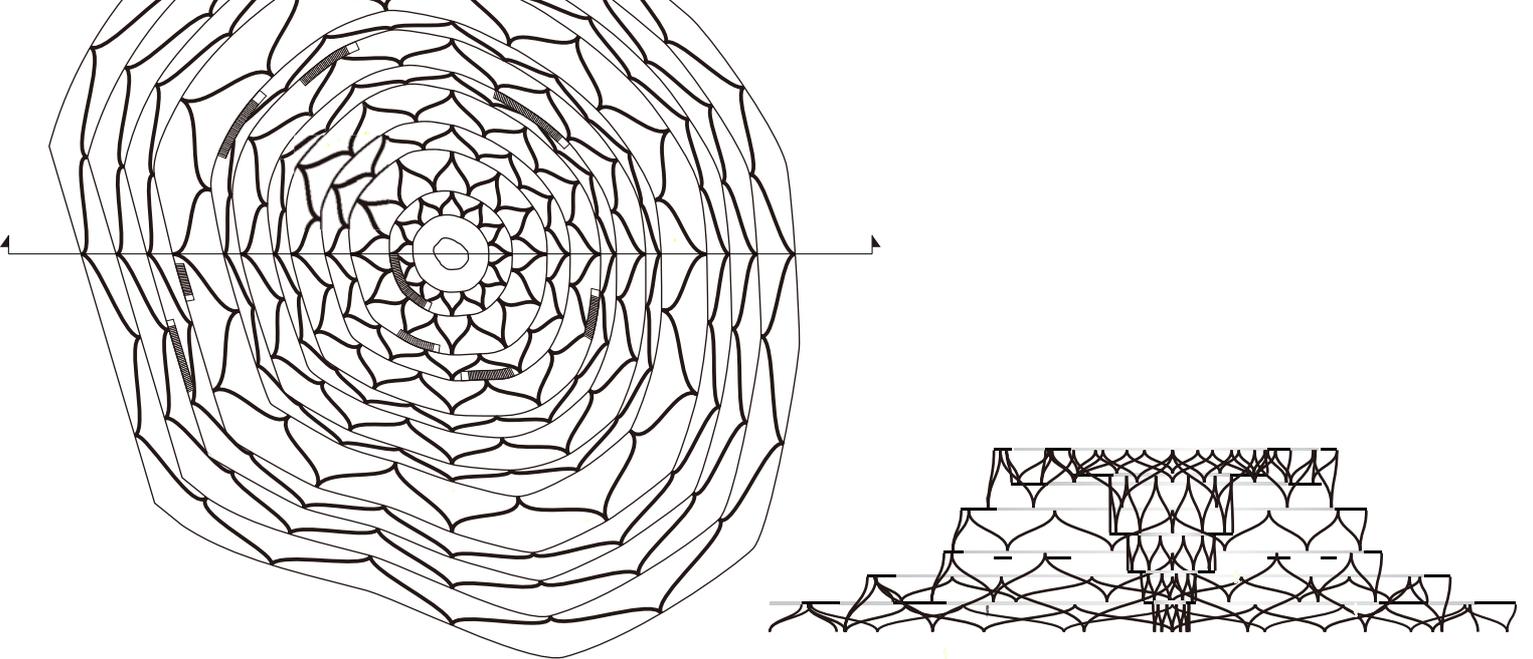
一方、技術の進歩により見えてきた新たな自然、人間の内部に存在するメカニズムも新たな自然「発見する自然」と捉えられよう。

そこで本研究は「享受する自然」、「感受する自然」から計画のコンセプト、イメージを導きだし、そこに異なる論理によって導かれた「発見する自然」を計画物の形態に援用する。

● 宿舎 1F 平面図 1/200



● 展望台



● 水路形態

現在の様子	観測	設計・配置	観測	設計・配置	観測	設計・配置	湿原再生

